

平成 24 年 5 月 10 日
気 象 庁

気象庁防災情報 XML フォーマットに係る資料の一部更新について

気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページ (<http://xml.kishou.go.jp/>) に掲載されている資料の一部について、更新を行いました。変更内容は以下のとおりです。

1 天気図情報ベクトルデータの気象庁防災情報 XML フォーマット形式での新規提供について

現在、画像でのみ提供している天気図情報について、等圧線の位置等を緯度経度で示した情報の気象庁防災情報 XML フォーマット形式での提供を平成 24 年 7 月（予定）から開始するにあたり、辞書等の修正を行います。

(1) 辞書・スキーマの修正点について

- ア 等圧線の記載のため、jmx_eb（基本要素辞書）の"type.Coordinate"のサイズを 200 から 100,000 へ変更。
- イ 辞書に以下の「とりうる値」を追加。
 - ・ jmx_ib（ヘッダ部辞書）の"type.head"の子要素 InfoKind に"天気図情報"を追加。
 - ・ jmx_eb の"type.DateTime"の type 属性に"予想 24 時間後"、"予想 48 時間後"を追加
 - ・ jmx_mete（気象分野辞書）の"type.MeteorologicalInfos"の type 属性に"天気図情報"を追加。
 - ・ jmx_mete の"type.Property"の Type 要素に"台風"を追加。

(2) バージョンについて

今回の修正に際して、スキーマのバージョン管理上は jmx_ib、jma_eb、jma_mete のマイナーバージョンアップと位置づけ、具体的には以下の通りの対応とします。

- ・ スキーマのバージョンアップはありません。
- ・ 名前空間の変更は行いません。

2 指定河川洪水予報で使用する WaterLevelStation コード表及び RiverOffice コード表について

平成 24 年 6 月～8 月に、指定河川洪水予報の対象河川に目黒川、古川、渋谷川、太平川、石田川が追加となるため、AreaRiver コード表、AreaFloodForecast コード表を修正します。